

麻生区区民会議 第9回 市民活動・地域活動の活性化部会 議事要旨

1 開催日時：平成27年8月18日（火）午後3時00分～午後5時15分

2 開催場所：麻生区役所第2会議室

3 出席者：[専門部会委員]

岡倉委員、高橋委員、石井委員、石川委員、植木委員、小尾委員、高倉委員、林委員、宮本委員
(欠席)横田委員

[事務局] 井上企画課長、白石、麻生 [コンサルタント] 中島

[説明者] 別所生涯学習支援課長

4 傍聴者 0名

5 連絡事項

各種連絡事項について

- ・別所生涯学習支援課長より地域人材育成連絡会議の進捗状況について説明があった。
今年度は協働のまちづくりに関わる地域活動団体の各種情報をまとめるとともに、既存の相談員を対象とした地域人材コーディネーターの養成講座を開催することのこと。
→地域人材コーディネーターについては、組織としてどのような位置づけとなるのか。
←細かいところは決まっていない。地域人材コーディネーターの役割は社会活動の場と人を繋げることを想定している。ただし、市民活動の分野は幅広いので、既存の相談窓口は組織コーディネーターとして残しつつ展開する。
- ・部会長より企画部会の報告。区民会議ニュースが本部会に関わる内容であったので、次回のニュースの中で、質問に対する回答の記事を載せる旨説明。
- ・前回の会議についてコンサルタントが説明。

6 議 事

【健康づくりのつどいへのブース設置について】

○コンサルタントよりブースを設置する上で「目的」の検討が必要である旨提案があり、検討を行った。

《主な意見》

- ・ボランティアのイメージは人それぞれなので、目的を持って意識調査を行うのならば、ある程度、ボランティアの定義について枠にはめる必要がある。
 - ・ボランティア自体を前面に出すのではなく、ボランティア活動で健康寿命を延ばしましょうという面を打ち出したらどうか。
 - ・先日紹介のあった新聞記事にも記載されていたが、生きがいのような魅力を伝えることが必要。
 - ・他の参加している団体を見ると、ボランティア=健康づくりとして、様々な活動をしている。区民会議としてどのような特色を打ち出すのか。
 - ・細かい分野ごとの活動は置いておいて、地域社会に貢献すると健康寿命が延びるという、大枠の部分をPRできればよい。
 - ・健康寿命が延びるという点で来場者を引きつけて、アンケート等で地域社会参加等の具体的な部分を探っていければよい。
 - ・健康を維持するためには、体の健康面の他に「心」の問題でもあることをどのように表現するのがポイントとなる。
- ブース設置の目的は①健康寿命を延ばすというボランティア活動の魅力についてのPR、②ボランティア活動等に関することについて来場者の声を聴く、の2点であることを確認した。

○コンサルタントより手法についてアンケートやパネル形式など複数の例が上げられ、その検討を行った。

- ・魅力についてのPRのパネルを展示することを考えると、スペース的にはアンケート方式となるのか。
- ・アンケートはブース内で待っていても人は来ない。ブースの外へ出て、選挙の出口調査のように来場者をつかまえ、聞き取りを行う必要がある。その際に来場者に渡す資料も必要。

- ・話し始めるきっかけとなるパネルが設置されていると良い。写真をつけると効果的。
 - ・区民会議ブースの横には、毎年、イベントを案内する人が立っている。区民会議委員も入れてもらって、順番待ちの人を誘導できると良い。
 - ・来場者は何をしたいか意識を持っている方が多い。人気なのは血管年齢測定。
 - ・来場者の多くは、高齢の女性の方。アンケート数から600人ほど集まる。
 - ・地域社会に入るための答えの例として、ボランティア活動に関連するチラシを置いたらどうか。
 - ・ロコモ体操などの大きなイベントがあると来場者はそちらへ流れる。時間によって対策が必要。
 - ・雨の対応についても検討が必要である。パネルを中に入れることはできないのか。
 - ・アンケート自体は、市の方でも何度もやっているのだから、結果は対して変わらないのではないかと。パネル方式ではどうか。記入してもらうのではなく、ポストイットを張り付けてもらう。他の人の意見を見ることができると、気になる人は入ってきそう。
 - ・ワークショップ的に進めていくなれば、初めにとっつきやすいヤマがあるといいと思う。
 - ・初めの導入部分のパネルは、テレビ番組にあるような、単純なイエス、ノーを答える形がよい。徐々に回答を進めていく内に、考えることが必要な質問へと誘導する。
- パネル方式で内容を検討していく旨、確認した。
(雨の日対策用に、アンケート方式も検討の必要がある旨、確認した)

【全体会資料の確認について】

- ・右側部分の「今後の審議」を「今後の検討事項」に変更し、健康づくりのブース設置などの個別活動を入れる旨、確認した。
- ・「ボランティアの活動促進のための具体的な検討」を「提言取りまとめ」の前に入れる旨、確認した。

【フォーラムについて】

- ・次回、目的や趣旨などについて検討する旨、確認した。

【現地調査について】

部会長より宮本委員から麻生老人福祉センター（いきいきセンター）の情報提供があった旨、説明あり。高齢の方の利用が多く、会場貸しのサークル活動が中心の「老人いこいの家」とは異なり、麻生老人福祉センターは、事務職員もいるので、もしかしたら部会を進める上でのヒントを掴めるのかもしれないとのこと。

- ・調査する目的をしっかりと固める必要がある。
- ・まずは、老人福祉センターにどのようなところか。どのような方が利用しているか。
- ・ボランティアの情報が其の施設に流れているか。サークル活動をボランティア活動に誘うようなマネジメント的機能があるのか。
- ・老人いこいの家にも言えることであるが、地域の各施設にボランティア活動等へつなげるコーディネーター的な役割となる人がいれば、将来のボランティアの拠点にもなりうるのかもしれない。
- ・将来、地域包括支援センターが地域の中心になるとの話を聞いたことがある。
- ・介護予防という点では、現在、高齢者の地域の相談窓口となっている。
- ・新総合計画のように、現在、市の様々な計画が変わり目を迎えている。どのような方向性に進むのか注目しながら議論を進める必要がある。

→委員有志で老人福祉センターを現地調査し、結果を部会で報告する旨、確認した。

【仕組み・仕掛けの検討について】

- ・人が知ってから行動するまでの5段階の内、「調べる」から「体験する・関係づくり」の3つについては、次回検討する旨確認した。

【区民車座集会について】

- ・事務局より、8月26日に開催予定で各町会（高橋委員含む）からの発表がある旨、説明あり。